


保護者の皆さまへ

鹿大だより

第25号

KAGOSHIMA UNIVERSITY

編集・発行 / 国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp



私たちが紹介します!

実は訪問済み

初潜入!

木藤 文香さん 医学部保健学科 4年

沼口 佑斗さん 農学部食料生命科学科 1年

松出 莉子さん 法文学部人文学科 2年

赤峰 恭太郎さん 理学部物理科学科 3年

稲盛記念館

工学部の卒業生で、本学第一号の名誉博士である稲盛和夫名誉博士からご寄附いただいたものです。平成30年10月に着工、令和元年11月に竣工式を迎えました。

INFORMATION

地上3階建(鉄筋コンクリート造) ■休館 日、祝
■開館日 月~土 ※1階フードコートは土・日・祝
※1階フードコートは月~金 ※年末年始臨時休館あり
※2階レストランは日・祝も営業 ※学校行事(入学試験等)により
■開館時間 10:00~17:00 使用不可の日あり

特集1




稲盛記念館

潜入!



稲盛 和夫 名誉博士

1955年鹿児島大学を卒業し、1959年京セラ株式会社を創業。1984年には現在のKDDIの母体となったDDIを創業。2010年には、日本航空会長に就任し、同社の再上場及び再建に尽力されました。本学には他にも「稲盛会館」、「稲盛アカデミー」があり、いずれも稲盛名誉博士から寄贈または寄附いただき設置したものです。

元号が「令和」となった昨年12月、本学郡元キャンパスには、教育研究のための新たな施設「稲盛記念館」が誕生しました。どなたでも利用できる施設ですので、多くの方に知っていただきたく、今号では内部の様子をご紹介します!保護者の皆様、本学にお越しの際はぜひ足をお運びください。

1F

食事・交流を楽しむ

フードコート

Food Cafe「KADAI」
ライドカフェカダイ

3月にオープンしたばかりのフードコート。広々とした空間で、本格的な窯焼きピザやパスタ、カレー、ハンバーグ等の他、ピタパンサンドやサラダ等の軽食が楽しめます。コーヒーマカフェラテ等のドリンク類も取り揃えています。



1-3F

稲盛ライブラリー

書籍コーナー(正面階段)

入ってすぐ現れるのは、3階まで続く正面階段。壁面の本棚には稲盛名誉博士の著作や関連する書籍を展示しており、館内で自由に閲覧できます。

大きな階段に驚き!最上部には稲盛名誉博士の肖像画が

重厚な雰囲気だけど、吹き抜けだから開放感もあるね



1F

IT PLAZA

ライティングライブラリー

ITコンセプトが利用でき、ワークスペースとして多用途に活用できます。

晴れた日はテラス席でランチも楽しそうです!

屋外テラス
44席のテラス席が用意されています。




展示コーナー「私と鹿児島」

稲盛名誉博士が経営に携わった企業の紹介や思想、社会活動(母校である本学への支援)を、パネルや展示物でご紹介しています。

展示コーナー「私と鹿児島」

メッセージフィロソフィコーナー(エントランス)

エントランスに設置された大型モニターでは、稲盛名誉博士の紹介映像がご覧いただけます。また稲盛名誉博士の座右の銘「敬天愛人」が掲げられています。



1F

レストラン

Vege Marche 19
(ヴェジマルシェ19)

「進取の気風広場」が一望できるガラス張りの開放的かつおしゃれなレストラン。ランチはバイキング形式、ディナーは予算に応じてビュッフェやコース等の対応が可能。30名以上であれば貸切も可(夜のみのみ)。個室も完備しています。

おすすめは総飯の美味しかったです!

学生は学生証提示で割引価格に



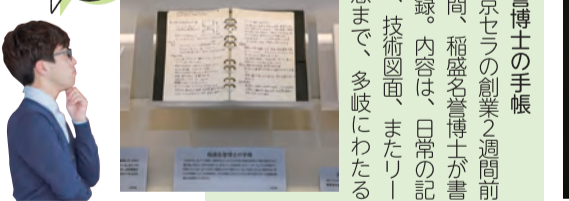
展示コーナー「歩みと功績」

稲盛名誉博士が経営に携わった企業の紹介や思想、社会活動(母校である本学への支援)を、パネルや展示物でご紹介しています。

展示物 稲盛名誉博士の手帳

1959年3月、京セラの創業2週間前から、およそ10年間、稲盛名誉博士が書き留めてきた備忘録。内容は、日常の記録から、受注メモ、技術図面、またリーダーとしての決意まで、多岐にわたるが、全ての頁が几帳面な文字で綴られている。(解説文あり)

私物の手帳が印象的すぎます。他にも卒業論文等の展示もあります。



3F

ビジネスや展示会に

会議室・ラウンジ

会議室やラウンジ等、講演会や展示会等で利用可能なファカルティラウンジ(多目的室を備えています(要予約))。

会議室とファカルティラウンジの間仕切りをなくすと広々としたスペースにサークルの展示会等でも使えそうです。

休憩等で利用できる小さなカフェスペースは16席(用意しています)。

一般の方も予約の上、利用可能




3F

京都賞

ライブラリー

稲盛名誉博士が私財を投じて設立した「稲盛財団」と国際賞「京都賞」に関する内容を、パネルや映像等でご紹介しています。

本学では年に一度、京都賞受賞者を囲み、研究者や大学院生が意見交換を行う鹿児島島コロキウムを開催しています。

タッチパネル式の5面マルチモニターを設置!



あとがき

初めて稲盛記念館に入りました。予想とは違い学生が気軽に利用できる場所でした。最も印象に残ったのは小さい文字がきれいに並んだ稲盛名誉博士の手帳です。私には真似できないと思いました。今後も稲盛名誉博士の本を読むために利用したいと思います。

松出 莉子さん

稲盛名誉博士の手帳が印象的でした。メモの取り方からも工学部出身であることが伺え、鹿大生が見たらモチベーションになると思います。本がたくさん展示された稲盛ライブラリーもおしゃれな雰囲気。経営に関する本はもちろん、他の分野にも応用できそうな考え方について書かれた本もあります。新しい考え方に触れて来てください。

赤峰 恭太郎さん

オープン後、初めて訪れました。普段は図書館や学習交流プラザで勉強していますが、稲盛記念館でも勉強したくなりました。落ち着いた照明とおしゃれなBGMで充実した時間が過ごせそうです。また稲盛ライブラリーでは稲盛名誉博士のことがよく分かります。新入生の皆さん、保護者の方も、気軽に足を運んでみてください!

沼口 佑斗さん

オープンしてすぐ、家族と2階のレストラン「Vege Marche 19」に行きました。なかなか大学に来る機会がないので家族も喜んでいました。稲盛記念館は地域の方の交流の場にもなると思います。医学部・歯学部に入學した皆さんは、郡元キャンパスで過ごす時間が限られています。ぜひ1年生の間にたくさん活用してください!

木藤 文香さん

※学生の学年は2020年3月現在のものです。
※新型コロナウイルスの感染拡大にともない、開館曜日・時間、レストランのメニュー・提供方法等に変更が生じている可能性があります。最新の情報は大学HPをご確認ください。

鹿大と海外をつなぐ拠点 グローバルセンター

在学生の皆さんに海外での学びの意義を啓発し、実現に向けた指導助言、教育(P-SEG 下記参照)を行うとともに、外国人留学生を対象にした日本語・日本文化教育、日本人学生と外国人留学生の協働学習の機会を設けています。

キャンパスグローバル化部門、学生海外派遣部門、外国人留学生部門、世界展開力事業担当で構成されており、7名の教員と6名のスタッフが日本人学生と留学生の活動をサポートしています。

場所：共通教育棟1号館4・5階



P-SEG登録はこちら

様々な海外研修・海外留学支援を学内で実施しています！

まずは参加！ 派遣留学説明会

留学したいと思っても、ほとんどの学生にとって留学は未知のもの。何から始めたら良いかわからない、費用がどのくらいかかるか不安...と悩む学生は多いです。

グローバルセンターでは、そのような学生を対象に「派遣留学説明会」を始めとした留学説明会を毎年開催しています。各制度の概要説明をはじめ、留学経験者による体験談が聞ける他、各地域に詳しい教員や留学を経験した学生が個別相談に応じます。

開催日程(予定)：5月、7月、11月、12月



▲昨年の様子(2019年5月)



グローバル教育研究拠点を目標して 鹿児島大学の 留学支援

鹿児島大学を通して応募する海外研修・海外留学

名称	短期(研修)				長期(留学)				
	1 [P-SEG]海外研修(共通教育科目)	1 [P-SEG]海外研修(各学部・大学院科目)	協定校または海外政府等が実施する夏期・春期短期研修	[PUPILS]パース市イマージョン英語プログラム	2 UCL稲盛留学生(大学院生対象)	3 鹿大「進取の精神」支援基金 学生海外派遣事業(長期派遣留学)	4 協定校派遣留学制度 交換留学(大学院)・交換留学(部局間)	5 トビタテ！留学JAPAN	
期間	1週間～1ヶ月程度	1週間～3ヶ月程度	1週間～1ヶ月程度	5週間	5ヶ月	9ヶ月	10週間～1年未満	1学期～1年間	28日間～1年以内(3ヶ月以上推奨)
行き先	米国、中国、台湾、シンガポール、タイ等	米国、韓国、台湾、カナダ、ドイツ、フィンランド、タイ等	フランス、台湾、ベトナム、韓国、オーストラリア等	オーストラリアパース市(西オーストラリア大学英語教育センター)	中国北京市(清華大学)	イギリス(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	学生が決める※	本学の協定校がある国(協定校)	学生が決める※
申請時期	4～5月・10～11月	研修毎に異なる	プログラム毎に異なる	5月	4月上旬	10月	2月	大学間：8月 / 部局間：派遣先毎に異なる	8月中旬または12～1月上旬
渡航時期	8～9月・2～3月	7～9月・2～3月	夏期・春期	8～9月	9～1月	9～6月	学生が決める※	派遣先毎に異なる	学生が決める※
奨学金	プログラム毎に異なる	プログラム毎に異なる	なし	5週間の研修費及びホームステイ費(パース市から支給)	・鹿児島県から30万円以下の支給(学費、保険料及び学生寮費) ・本学から留学準備金(定額)	・往復渡航費(上限30万円) ・滞在費(月額1500英ポンド) ・授業料 ・保険料及びビザ発行にかかる手数料	・奨学金月額6～10万円 ・往復渡航費(上限5～25万円) ・授業料(30万円)	・JASSO海外留学支援制度(月額6～10万円) ・本学から留学準備金(定額) ※派遣先大学の授業料等は納める必要なし(本学の授業料等は納める必要がある)	・奨学金(条件により月額6・12・16万円) ・留学準備金(条件により15・25万円)

※「学生が決める」：学生自身が立てる留学計画に基づき審査が行われるもの。行き先や時期等を学生自身が決めることができる。

1 P-SEG(ピーセグ)

正式名称は「鹿児島大学進取の精神グローバル人材育成プログラム」(Educational Program for Spirit of Enterprise in Global Contexts = P-SEG)で、海外研修と語学学習、そして留学や海外インターンシップを組み合わせた総合的グローバル人材育成プログラム。海外研修(1週間～3ヶ月程度)を核に、事前・事後学習、語学学習、外国人留学生との協働学習等と組み合わせ、1年生から継続的に学習することができる。登録は上記QRコードで。対象：学部生・大学院生

P-SEG 4年間のロードマップ



2 UCL稲盛留学生制度

幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の気風」を備えた人材を輩出することを目指して、2018年に設立した本学の給付型奨学金制度。鹿児島大学稲盛和夫基金を原資とする。英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)に、正規学生と同じ扱いを受けるアフィリエイト学生として留学(1年間)する。

対象：大学院生または大学院への入学予定者

審査：学内選考の後、UCLの入学要件を満たす必要あり

3 鹿大「進取の精神」支援基金 学生海外派遣事業

鹿大「進取の精神」支援基金「学生海外派遣事業」は、鹿児島地域の活性化に資するグローバル人材を育成することを目的として、地域への貢献・活性化に繋がるテーマを持つ海外活動(10週間～1年以内。実践活動を含む)に、帰国後に行う地域活性化に寄与する活動を含めた留学計画を給付型奨学金で支援する。

対象：学部生・大学院生

審査：学内選考

4 協定校派遣留学

本学と学生交流の覚書を締結している海外の大学に、授業料不徴収で(本学の授業料は納付)1学期以上1年以内留学できる制度。本学の支援あり。条件を満たせばJASSO海外留学支援制度の給付型奨学金も受給できる。派遣先大学の取得単位は、本学の履修単位と認定されることがある(各学部規則により異なるため、各自で確認が必要)。

対象：学部生・大学院生

審査：学内選考の後、派遣先大学の入学要件を満たす必要あり

5 トビタテ！留学JAPAN

文部科学省が官民協働で取組む海外留学支援制度。自らの意欲的な目標に基づき立案した、実践活動を含む留学計画(28日～1年)を給付型奨学金で支援。大学の座学の他、インターンシップやボランティア等の実践活動も支援対象となる。充実した事前・事後研修で、個性溢れる多様な派遣留学生のネットワークに参加することも魅力。グローバルセンター主導のもと、応募説明会や各学部教員と応募指導を行う等、支援体制を整えている。

対象：学部生・大学院生

審査：トビタテによる書類審査及び面接等審査

キャンパスが位置する「鹿児島」の特性を活かしながら、地域と共に社会の発展に貢献する「南九州から世界に羽ばたくグローバル教育研究拠点を目標し、グローバル人材(グローバルな視点を持つ地域人材)の育成に取り組み鹿児島大学。その一環として、本学では多種多様な留学支援制度を用意し、学生の海外での学びを応援しています。本特集では、そんな本学の留学支援についてご紹介。ぜひ参考にしてください。

掲載した情報は、本学HP「留学生(海外・日本) / 国際交流事業」から抜粋したものです。詳細はこちらをご覧ください。https://www.kagoshima-u.ac.jp/kokusai/kensyu.html

数字で見る鹿児島大学の留学関連DATA (※2019年5月現在[H30年度]のデータ。短期研修含む)



伝えよう！ 鹿大生の海外体験

学生による海外体験報告をご覧ください

留学に関するお問い合わせ

国際事業課留学生係

MAIL: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

場所: 共通教育棟1号館5階

国料さんの留学チャート

1年生: 語学留学(短期)

2年生: 派遣留学説明会参加

「派遣留学」応募

「トビタテ」応募

「派遣留学」合格(学内審査)

トビタテの応募時は派遣留学ができるか分からなかったそう。「もし派遣留学が不合格の場合、トビタテの面接では別のプランを話さつもりでした(国料さん)」

「トビタテ」面接、合格

「派遣留学」受入内諾(協定校から)

3年生(8月): 留学

留学体験談

法学部法政策学科4年 国料 大夢さん

留学先: フライビン(フライビン大学)

留学期間: 2018年8月～2019年4月

「留学の目的ときっかけ」

ソシヤルビジネスを学びながら、海外の大学で英語を学びたいと考え、トビタテと派遣留学の制度を活用することにしました。トビタテの留学計画書には、現地企業でのインターンシップと、本学の協定校であるフライビン大学への留学を盛り込みました。

フライビンは1ヶ月間だけ語学留学したことがありますが、その際、ストリートチルドレンや高齢のホームレスが当然のようにいる現地の光景に衝撃を受けて...。何もできない自分に無力感をおぼえ、帰国後にボランティアで支援活動をしたつもりでしたが、持続的に支援するのは難しいと思いはじめ、そんなときにソシヤルビジネスを知り、もっと深く学びたいと思ったのがきっかけです。

「留学を通して感じたこと、印象に残っていること」

日本という島国ならではの特殊性で、また「外国人」という立場になったことで、色々なことに気づけるようになったと思います。

「留学を検討している後輩に伝えたいこと」

ぜひ挑戦すべきとにかく経験してほしいです。学内の留学相談会等でもサポートしているので、興味のある方の参加を待っています！

「自分自身を知るチャンス！それが留学だと思っています」

※学生の学年は2020年3月現在のものです。

※新型コロナウイルスの感染拡大にともない、2020年9月30日まで学生の海外渡航は中止または延期となりました(2020年4月現在)。

よさこいサークル 隼人

Clubs サークル紹介

学生会管弦楽団



第22回YOSAKOIさせぼ祭りでの演奏▲ (2019年10月長崎県にて)

男子3名、女子9名。2020年7月に創設3年目を迎えます。普段の練習に加え、週末は県内地域のイベントや九州各地のお祭りに参加して、地域を盛り上げています。私たちと一緒によさこいの魅力を味わってみませんか? (大上 和人さん [代表・法文学部2年])

楽器経験者はもちろん、初心者から始めた人も音楽を楽しんでいる部活です。年2回の定期演奏会では本格的なクラシック曲を演奏し、夏休みの演奏旅行では地方の可愛い小学生たちと音楽の楽しさを共有。ここには書ききれませんが他にも色々な活動をしています! (齊藤 優花さん [主将・法文学部2年])



合奏練習▶

陸上競技部



長距離選手による練習「集団走」▲

男子29名、女子11名。2019年は走幅跳で全日本インカレ出場、九州インカレ多数入賞。九州学生駅伝では男女共に躍進賞と今勢いに乗っています。「種目、学年を超えて仲も良く、お互い切磋琢磨し、今までの自分を越えられるよう練習を積んでいます! 初心者の方、より専門的に陸上競技に向き合いたい方、選手を支えるマネージャーを募集中!」 (山口 優明さん [主務・教育学部3年])

アメリカンフットボール部 BONITO

選手23名、マネージャー4名で活動中。部員の大半が大学からアメフトを始めていて、マネージャーは練習だけでなく会計や広報の面でもサポートしてくれています。少しでもアメフトやマネジメントに興味のある方は是非アメフト部へ遊びにきてください! (福元 伸二さん [主将・工学部3年])



練習の様子(ポジションごとの練習)▲

大学の研究室って どんなんところ?

研究室から

環境建築研究室

指導教員: 大学院理工学研究科 (工学系) 建築学専攻 鷹野 敦 准教授 所属学生 (2019年度): 修士2年1名、修士1年2名、学部4年5名、交換留学生1名 (計9名)

鹿児島市のNPO法人「こどものけんちくがっこう」の理事長も務める鷹野 敦准教授。研究室での学びはどのようなものなのでしょう。お話を伺いました。

「こどものけんちくがっこう」は子どもたちが「ものづくり」を通して建築を体験的に学ぶ建築教育プログラムで、当研究室が民間の工務店と産学共同で始めたものです。研究室の学生には、各クラスでのサポート及び、博士前期課程の学生には担任として指導にあたってもらいます。このような取り組みは全国的にも珍しく、2018年には「木の建築賞(活動賞)」を、2019年には「ウッドデザイン賞2019」で優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。



こどものけんちくがっこう

学生と共に走り、共に考える。 “成長”がコンセプトの“半士半農”を目指す研究室

研究室のテーマは、「環境」を切り口に、より良い建物のデザインや造り方を考えること。学生達は、木造建築の新しい造り方や環境負荷(CO2の排出やエネルギー消費)の低減などを主題とした研究に取り組むと共に、建物の設計や建設などの実践や震災後のボランティア活動、子ども達に建築の楽しさや大切さを伝える教育活動と、様々なことに横断的に取り組みます。研究室内のデスクワークと、外で体を動かすフィールドワークをバランス良く行い、幅広い経験を学生達には積んでもらいたいと考えています。コンピューターでの作業から野良仕事までこなせる人材が巣立ってくると理想的です。



卒業建設。1/1サイズの小屋を建てる学生



理工学研究科 建築学専攻 (博士前期2年) 田村 健太郎さん 工学部建築学科卒

学部生のときに鷹野先生の講演を聞いたのがきっかけで院に進み鷹野研究室に。研究室では、店舗の設計プロジェクトに携ったり、海外での研修等多くの経験をさせてもらいました。ヨーロッパ6カ国の著名建築物を見る研修では、スイスの豊かな田舎町の光景や、その中に佇む聖ベネディクト教会に本当に感動しました。「建築には、その場においてこそ感じられる感覚がある」ということを教わりました。

卒業後は住宅の設計事務所就職します。3年間の研究室生活で学んだこと、経験を生かしたいです。

■本学HP「研究一線」では本学の教員の研究内容等をご覧いただけます。ぜひご覧ください。 https://www.kagoshima-u.ac.jp/researcher/



学 生 表 彰

※学年は表彰時の学年

令和元年度 鹿児島大学進取の精神学生表彰

本学の学生憲章の趣旨に即し、困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を実践し、優れた活動実績や業績等を収めた学生及び学生団体を表彰するものです。以下に被表彰者を掲載し、最優秀賞等の受賞者については表彰内容を併せて掲載します。

- 最優秀賞 黒川 夕奈(共同獣医学部6年) オートファジー(自食作用)におけるホスファチジルイノシトール4キナーゼの役割
優秀賞 長尾 有希子(農学部4年) ミートジャッキング競技会と食肉科学研究
準優秀賞 國料 大夢(法文学部4年) 4年しかない学生時代やりたいことは全てやる
原野 加奈子(理学部4年) 希少な香酸柑橘の香気成分分析

- 【学部(個人)】 野崎 翔太(法文学部4年)、橋本 尚大(教育学部4年)
【学部(団体)】 歯学部女子バレー部及び同男子バレー部 / 薩長同盟プロジェクト たかくま森人クラブ / 鹿児島大学ウミガメ研究会

- 【研究科(個人)】
●理工学研究科 鬼丸 隆太郎(博士前期2年)、中尾 太陽(博士前期2年)、円城寺 佑貴(博士前期2年)、川畑 雅樹(博士前期1年)、湯舟 広海(博士前期1年)、中島 亮輔(博士前期1年)、馬場 咲也子(博士前期1年)、鈴木 崇大(博士前期1年)、久富 あすか(博士後期2年)
●水産学研究科 中屋 慧(水産学専攻2年)
●医歯学総合研究科 柳澤 彩佳(健康科学専攻4年)

令和元年度 鹿児島大学稲盛賞

本学を卒業された京セラ株式会社名誉会長 稲盛 和夫氏のご寄附により、平成15年度から設けられた学生表彰制度で、①学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年次の学部学生、②社会の期待にこたえるような業績を挙げた学部学生及び大学院学生、③その他前2号と同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。

- ・法文学部/中村 俊耶、木田 夕菜 ・教育学部/内野 真瑚 ・理学部/佐藤 壮紀、岩下 有美
・医学部/齋藤 勝広、笠井 郁也 ・歯学部/井手 美香 ・工学部/屋宮 友哉、上野 邑真
・農学部/長田 萌里、中野 瑞希 ・水産学部/新名 祐一、休徳 行司
・共同獣医学部/小川 竣太郎 ・教育学研究科/堀之内 聖

令和元年度 鹿児島大学工業倶楽部賞

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定の目的に基づき、平成17年度から設けられた学生表彰制度で、鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績等を挙げた、大学院研究科に在学する最終年次の学生を表彰するものです。

- ・中村 恵理(農学研究科修士課程) [麹菌の細胞質膜局在型クエン酸輸送体に関する研究]
・興梠 瑠香奈(農学研究科修士課程) [家禽の栄養状態と肉質肉質の関連並びに畜産廃棄物の利用法の研究]

令和元年度 鹿児島大学商工会議所会頭賞

鹿児島商工会議所との包括連携協力協定の目的に基づき平成30年度から設けられた学生表彰制度で、地域の活性化に繋がる優れた取組を行った、学部等に在学する最終年次の学生を表彰するものです。

- ・原野 加奈子(理学部) ・黒瀬 絵里奈(農学部)

令和元年度 鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム

進取の精神チャレンジプログラムは、学生憲章の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことにより鹿児島大学における進取の精神を継承することを目的としています。また、鹿児島県内自治体や企業などと連携した地域貢献活動を展開してほしいと考え、平成28年度から「地方創生活動部門」を追加しました。

一般部門

- 【最優秀賞】金の鳥刺し/金で菌を検出!~安心して鳥刺しを食べてもらおう!~
【優秀賞】鹿児島大学学生会吹奏楽団/演奏旅行~吹奏楽でつなぐ鹿児島と鹿児島大学~
さかなスタイル/鹿児島の水産業の魅力発信
ぬいぐるみ病院サークル/ぬいぐるみ病院プロジェクト
歯学部国際交流部ICU/鹿児島在住外国人への歯科検診ボランティアプロジェクト

地方創生活動部門

- 【最優秀賞】KG base/錦江町子ども未来作りプロジェクト
【優秀賞】薩南諸島勉強会/三島村を国際観光拠点に!~鹿大生による魅力発信と多言語発信~
チーム中名/喜入中名の空き家を活用した地域住民と学生による地域活性化プログラム
鹿児島大学ウミガメ研究会/夏休み自由研究お助け隊!~ウミガメと吹上浜のなかまたち~

●2020年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定) ※1

Table with 3 columns: Target Group (e.g., 1~2 years, 3 years, 4 years, All-year), Date, and Event Name (e.g., Career Design, Job Support, Internship).

※1:上記以外にも各学部主催で就職ガイダンス、説明会等を開催しています。詳細は各学部の就職担当窓口まで。
※2:3年生と修士1年生が主対象ですが、他の学年の学生も参加できるイベントです。
※3:要相談。詳細はインターンシップ窓口まで。
※4:今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によりスケジュールが変更になる可能性があります。最新の情報はキャリア形成支援センターのHPをご覧ください。

2020年度学事日程 (Academic Calendar) listing dates for events like graduation, enrollment, and exams.

PICK UP!

●令和元年度学位記授与式・令和2年度入学式の動画を公開しています
本学では毎年、鹿児島県総合体育センター体育館にて卒業式・修了式並びに入学式を挙げていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を取りやめ、規模を縮小し実施しました。

■令和元年度学位記授与式(3月25日)
令和元年度の卒業・修了生は、学部卒業生1,920名、大学院修了者576名の計2,496名です。式では佐野 輝学長から、学部代表者の豊島 究視さん(法文学部4年)、修士課程代表者の宮路 裕之さん(農学研究科2年)、博士課程代表者の池田 由里子さん(保健学研究科3年)の3名に学位記が授与されました。



学位記授与式の様子

■令和2年度入学式(4月7日)
今年度の入学生は学部学生1,948名、大学院学生599名の計2,547名です。佐野 輝学長による入学許可に続き、学部と大学院それぞれを代表し、小林 優莉さん(共同獣医学部)と萩山 勇希さん(農林水産学研究科)の2名が入学生宣誓を行いました。



入学式の様子

●学長と学生による懇談会を実施
本学では、卒業予定の学生からの意見等を学長が直接聞くことにより、今後の大学運営に役立てることを目的とした「学長と学生の懇談会」を毎年開催しています。
今年度は、11月13日、佐野輝学長、武隈晃理事(教育担当)及び関係教職員が、学生と懇談しました。

鹿大の主な出来事 2019年10月~2020年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY
詳細は、大学HPをご参照ください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp

●創立70周年記念式典・記念シンポジウムを開催
1949年に新制大学として発足した本学は、2019年、創立70周年を迎えました。これを記念し、12月12日、創立70周年記念式典・記念シンポジウムを開催しました。



懇談会の様子

予定の学生との懇談会も実施。いずれも今後の大学運営にとって大変有意義なものとなりました。

●共同獣医学部がアジア初の認定
本学及び山口大学共同獣医学部は、獣医学教育の欧州国際認証となる欧州獣医学教育機関協会(EAVE) 認証を12月11日取得し、同じく認証取得した北海道大学及び帯広畜産大学共同獣医学課程の4大学による合同記者会見を12月13日文部科学省にて行いました。



記念式典の様子(稲盛会館にて)

●「地域人材育成プラットフォーム」成果報告会を開催
2月21日、地域人材育成プラットフォーム第1期成果報告会を開催しました。本学は「地域に貢献する大学」として、地域のために活躍できる人材の育成に取り組んでおり、その大きな柱が2017年度に開設した「地域人材育成プラットフォーム」です。

●「鹿大野球部vs東大野球部」記念試合を開催
3月6日、鴨池市民球場(鹿児島市)にて、本学の硬式野球部と



修了した学生の皆さん

東京大学野球部が交流試合を行いました。これは「日本野球誕生125周年中馬康先生記念試合」として、ベースボールを「野球」と訳した中馬康(ちゅうまん・かなえ)氏が、明治30年に日本初の野球指導書「野球」を著されてから125周年、本学が創立70周年、東京大学運動会硬式野球部が創立100周年を迎えたことを記念して開催したものです。

東京大学野球部が交流試合を行いました。これは「日本野球誕生125周年中馬康先生記念試合」として、ベースボールを「野球」と訳した中馬康(ちゅうまん・かなえ)氏が、明治30年に日本初の野球指導書「野球」を著されてから125周年、本学が創立70周年、東京大学運動会硬式野球部が創立100周年を迎えたことを記念して開催したものです。鹿児島市出身の中馬氏は、東京帝国大学(現在の東京大学)を卒業した後、本学が流れを汲む「尋常中学造士館」に教諭として勤務するなど、両大学にゆかりのある方です。

INFORMATION section containing links to the homepage, Instagram, and job opportunities, along with QR codes.

※学生の学年は2020年3月現在のものです。